

東日本大震災津波に係る応急仮設住宅の供与の終了について

東日本大震災津波では、平成23年10月をピークに、43,738人の被災者の方々が応急仮設住宅（みなし仮設を含む。）に入居していましたが、令和3年3月31日までに全入居者が恒久的な住宅に移行したことから、令和3年3月31日をもちまして応急仮設住宅の供与を終了しました。

1 東日本大震災津波に係る応急仮設住宅の建設戸数等

平成23年3月19日から応急仮設住宅の建設を開始し、同年8月11日までに必要戸数である13,984戸全ての建設が完了した。

2 岩手県被災者に係る応急仮設住宅入居者等の推移

(1) 入居戸（世帯）数

	H23.12.2	H24.3末	H25.3末	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末	H30.3末	H31.3末	R2.3末	R3.3末
プレハブ仮設	13,219	13,187	12,643	11,546	9,942	7,481	4,760	2,620	785	146	0
みなし仮設	4,403	4,186	3,544	2,888	2,341	1,792	1,075	627	205	79	0
計	17,622	17,373	16,187	14,434	12,283	9,273	5,835	3,247	990	225	0

※ 平成31年3月以前は戸数、令和2年3月以降は世帯数による集計であること。

(2) 入居者数

	H23.10.14	H24.3末	H25.3末	H26.3末	H27.3末	H28.3末	H29.3末	H30.3末	H31.3末	R2.3末	R3.3末
プレハブ仮設	31,727	30,755	28,827	25,619	21,530	15,776	9,896	5,367	1,632	351	0
みなし仮設	12,011	11,156	9,373	7,571	6,043	4,634	2,591	1,490	481	187	0
計	43,738	41,911	38,200	33,190	27,573	20,410	12,487	6,857	2,113	538	0